講演者等紹介

セミナー No：M305　12.16 (Fri.) 11:30 ▶ 12:00 ｜ メインステージ

異分野融合共同研究（情報インフラ）

農業情報インフラの社会実装

国立大学法人名古屋大学大学院　情報科学研究科　教授　**北 栄輔 氏**

「ICT 活用農業 事業化・普及プロジェクト」では、農学に情報学等の異分野の技術を融合する農業 ICT を通して、農作業の軽減や農業収入の増加につながるサービスの開発を図ります。

そのための農業情報インフラとして、拠点研究機関では第 1 層（センシング層）、第 2 層（基盤情報サービス層）、第 3 層（ユーザサービス層）の 3 層からなるプラットフォームを構築しています。

本発表では、このようなプラットフォームおよびそれらを活用した農家に役立つ様々なサービスについて、社会実装に向けた取組みを紹介します。

セミナー No：M315　12.16 (Fri.) 14:00 ▶ 15:30 ｜ メインステージ

先端を行く農業ベンチャーの取組

植物の声を聴く、栽培環境制御のための植物診断。

PLANT DATA JAPAN 株式会社（愛媛大学発ベンチャー）　代表取締役最高執行責任者　**北川 寛人 氏**

愛媛大学の研究成果を技術シーズとし、植物の生育状態の数値化・情報化とそのデータを栽培管理に活かすためのプラットフォームを国内外で提供しています。

安定生産や収量増加から、高付加価値化や病害虫検知まで、技術と事業の現状と今後の展開を紹介します。

センシング技術による植物のリアルタイムな環境応答の見える化を通じて、人間と植物の新しい関係の構築を志向する企業です。

農業に休日を !! —Grow with IoT—

株式会社ルートレック・ネットワークス　代表取締役社長　**佐々木 伸一 氏**

IoT とクラウドを活用してかん水・施肥作業を自動化する次世代型の養液土耕システム等を提供する企業です。基盤技術は明治大学黒川農場との産学連携により開発されたものであり、この技術の特徴や現在の取組の状況、今後の展開などについて紹介します。

異分野融合の研究を活かして、農業の問題解決に取り組む意義

株式会社 SenSprout　マネージャー　**菊池 里紗 氏**

SenSprout 社はプリント技術を用いた低価格な水分・温度センサーを用いて、世界の植物栽培における水利用の最適化を目指しています。東京大学工学部の研究を元にビジネスをスタートさせ、現在も工学部ならびに農学部と共同して技術の開発・改良を行っています。「なぜ工学部の技術で農業の問題に取り組むのか」をはじめ、現在の取り組みの状況や今後の展開について紹介します。

データ＊次世代農業　～データを活用した経営の見える化と産地育成の取り組み～

テラスマイル株式会社　代表取締役社長　**生駒 祐一 氏**

大規模農園（施設園芸）の再生実績をもとに、データ分析による農業経営を行う、少しユニークな ICT コンサルティングする企業です。九州の自治体や農協、普及センターとタッグを組み、データや ICT を活用した競争力のある新しい営農・普及活動を支援しています。

出荷実績や、温湿度センサーなどのデータ等を分析し、分析結果を農業経営に有効なグラフや数値に見える化し伝えることで、稼げる農業・産地経営・部会運営を提案します。事業の特徴や取組状況、今後の展開などについてご紹介します。